福沢みゆきのかけある記

日本共産党亀山市会議員　福沢みゆき　　第４号　２００７年５月３１日
亀山市下庄町１１３－８　電話０595-83-2938　Fax　0595-83-5982
http://miyuki113.cocolog-nifty.com/blog/　e-mail miyuki.fukuzawa113-8@mbr.nifty.com

活動　復帰します

みなさんこんにちは。かけある記の発行も第４号となりました。私事ですが、この春は大変でした。乳がんが見つかり、手術をしたのです。病気の話を聞くのは不愉快かもしれませんが“ひとりでも多くの方が検診をうけていただくよう”祈りを込めて、お話しすることにしました。しこりがないから、と安心してみえる方もいるようですが、私の場合は、しこりとしては全くわからずエコーでも確認できないものを、マンモグラフィーでみつけていただきました。（年齢によって検査方法は違います）自分のことはつい後回しにしてしまう、子育て、介護、仕事にいそがしい年代の女性のみなさん。ぜひ、積極的に検診をうけてください。男性のみなさん、大切な家族やお友達に検診を勧めてください。選挙と一緒で、あなたがひとこと声をかけるかどうかで、結果は大きく変わってくると思います。６月は議会の月。気力、体力も充実してきました。これからも、自分の体と対話しながら、一層がんばっていきたいと思っています。みなさんの声、今まで同様届けてくださいね。

３月議会の報告

３月議会では次のようなことを質問しました。

・リニア駅の基金が現在１０億円あるのにさらに年間５千万円を積み増しする必要があるのか
・狭い亀山中学校は移転も含め建て替えすることを考えるべきではないか
・指定ごみ袋導入事業については市民の理解を得ながらていねいに進めるべき
・　税の障害者控除を申請している人が少ない。　周知の徹底、申請の拡充を図るべき
・学校給食検討委員会の議論のすすみ具合はどうか、公開するべきではないか
・桜川のさかなの斃死について、情報が錯綜したので混乱した。なぜ？
・　斎場の工事請負契約の経過を説明すること、なぜ１社だけになったのか。

また、予算委員会では次のようなことを質問しました。

１，子どもの教育や保育の現場で臨時、パートを増やしていくことで弊害はないのか？
２，歩道の整備を計画的に進め、自然の美しい、歴史の町らしく、歩く人に優しい町づくりをしてほしい。答弁（計画的でなく要望のあったところから整備している）
３，母子寮をつくってほしいとの声がある。市営住宅は今後造るつもりはないと明言したがこれも造るつもりはないのか？　答弁（やれるかどうかは分からないが視野に入れて計画していく）
４，AED のように１分１秒を争って命を助けようというものについては年度をまたいで段階的に設置するのではなく一度に設置できないか？　答弁なし

「中学校給食」について

学校給食は教育です。子どもたちの体のことを思うなら話題になった世界史の未履修問題よりも大きな問題だと思っています。亀山市では「１９年度中に給食検討委員会が方向性を出す。」とのことで、いよいよ動き出した感があります。しかしながら、３月議会の教育委員会の答弁は「本当に子どもたちにとってよいものを」という視点があるのか、疑問に思うものでありました。

第一に、給食検討委員会が非公開、密室で行われているということ。委員の自由な発言を保証するため、との理由ですが理解できません。１２月、３月と続けて質問し改善を求めました。４月には日本共産党亀山市議団より改善を求める申し入れを行いました。**～ここまで書いたところでうれしい知らせが入ってきました。５月２８日の委員会より傍聴できるようになりました。給食は、学校や親、子どもだけの話でなく農業問題や地域の活性化にも派生する市民全体で考えるべき問題です。みんなで傍聴に行きませんか。**

次に問題だと思ったのは『お弁当をつくってもらえない、パン代ももらえない子らのため、短期的に“デリバリー方式”を考えている』という答弁です。デリバリー方式というのはいわば『宅配弁当』で、事前予約をした人にのみ配られます。民間で行うので初期投資を必要としない、すぐ実施できる、という触れ込みですが、下のような問題があります。



① 自校方式の給食に比べ、大量調理であるため地元の食材を使うことが困難。

コストを下げるために安全性は犠牲にならないだろうか

② お弁当なので冷ます時間や配送時間を見なければならないし、温かい汁物、てこごしい手作りの献立も困難。
③ 必要な時に必要な人だけが注文する『宅配弁当』で

「食」を教育する場としてふさわしいだろうか

給食検討委員会でいろんな形態の給食を見学したり試食したりしたということですが、その内容を見る限り、亀山市の小学校で実施している自校方式の給食に勝るものはひとつもありません。安心で安全で、どの子も食べることができる、食の教育の場として、当たり前の中学校給食が実現するように頑張っていきたいと思っています。



武力で平和はつくれない

銃撃された長崎市前市長の伊藤一長さん、立てこもり事件で殉職された林一歩さん。会ったことも話したこともないけれど、亡くなられたことに対する悲しみで胸がいっぱいになります。しかし、戦争となると命は数字でカウントされるのみ、多少の犠牲はつきものとなります。戦争のもとでは教育も人権も福祉もありません。最近映画や子どもが見るアニメにまで“愛する人を守るために戦う”なんていう設定やせりふがみられますが、愛する人を守るために銃はいりません。武力で平和はつくれないことは、今までの歴史が証明しています。だいたい、温暖化で地球が壊れそうなのに、人間は武器弾薬にお金を使っている場合ではないのです。

日本共産党は結党後８５年一貫して戦争反対の姿勢をつらぬいてきた、ぶれのない党です。いのちと暮らしを一番大事にしてきました。この党がもっともっと大きくなることは、日本のみならず、地球の平和に寄与することであると、私は確信しています。

進んでいます　バスの検討

みなさんの願いの強さを受けて、検討は予定より進んでいます。バスなどの地域交通について協議する『亀山市地域公共交通会議』ですが６月１日で第３回となります。旧関町から市の中心部へのバスが検討されています。次は南部の協議に入るでしょう。検討の詳しい内容は、亀山市のホームページでみることができます。亀山市～生活ガイド～交通～亀山市地域交通公共会議　の順番にクリックしていくとはいれます。傍聴もできますので予定をこれでチェックし直に聞くのが一番わかりやすいと思います。地元の関心の高さをアピールし、良い意味で協議に緊張感を持たせることができます。乗りやすいバスになるよう市民がチェックしましょう。

６月議会が始まります

６月議会が始まります。日程は以下の通りです。ぜひ傍聴においでください。中学校給食のこと、小学校給食でのアレルギー対応について、子どもの医療費助成拡充について、などの課題に取り組むつもりです。

６月　４日（月）	本会議（開会）	
６月１１日（月）	本会議（議案質疑）	質問します
６月１２日（火）	本会議（一般質問）	
６月１３日（水）	本会議（一般質問）	質問します
６月１４日（木）	産業建設委員会	
６月１５日（金）	教育民生委員会	質問します
６月１８日（月）	総務委員会	
６月２０日（水）	本会議（閉会）	

おことわり　４、５月は入院、通院、リハビリで、ほとんど過ぎてしまいました。活動報告はお休みします。

住民の声が政治を動かした。

一歳にも満たない障害を持った赤ちゃんが入院してみえました。退院して、ご両親と暮らすには、いろんな準備が必要です。特に吸引器や酸素濃度を測るための医療機器を購入しなければならないので、障害者手帳を取得して生活用具の給付を受けようとしました。しかしそこには“３才以上でなければいけない”という年齢制限がありました。

病院のケースワーカーさんから「どうして生活用具の給付に年齢制限があるのか？」と聞かれました。もっともな話です。



市の担当者にその声を伝えて、改善を計っていただくようお願いしました。そして親身になって調べていただいた結果、年齢制限は撤廃され、生活用具の給付も拡充されたのです。ケースワーカーと市職員、それぞれのプロ意識に感動しました。政治って心温まるこんなエピソードをひとつひとつ積み重ねることにより良くなっていくのではないでしょうか？『良いことは、すぐしますよ！また言ってください！』とのこと。心強い限りです。